

「あじさい」をパソコンで打つと紫陽花とでてくる。「あじさい」なら幼稚園のクラスの名前にありそうだけど、「紫陽花」ならばくはいつも美容院を連想してしまいます。なんでしょうね。

昔、「恍惚の人」という映画があって、それは痴呆老人を抱えた家族の問題を扱った映画で、森繁久弥と高峰秀子。森繁さんが惚け老人になって突然、町の中を徘徊したりする。そのおじいさんが雨の中をずぶ濡れになって歩いていたとき、目の前にあじさいが現れる。そのあじさいを見つめるときだけ、素直なやさしい目になって、何かを失ってしまった人間が蘇ったような、そんな静かな感動を覚えたのをおぼえています。

写真は、矢田寺のあじさい。6月4日の土曜日に行きました。昨日は少し降ったけど、この日は快晴。梅雨の始めて、六分ぐらいだけど、どうですか。「雨に咲く花」。みずみずしくて、まだ少し満開には早い固さが残っていて、清楚で、優しく、うーん、どうなんでしょう。まだまだですかね。

、境内には種々のあじさいが見本であって、カシワバアジサイ、タニウツギ、伊豆の華、三原八重、コアマチャ、紅茶アマチャ、天城甘茶、日向青、三河ちどり、伊予時雨、伊予の夕立……などなど、ご当地あじさいようです。

矢田寺のあじさいは約60種、1万本といわれます。以前は8千本だったのが最近は増えたらしい。そのかわり入山料も去年までは400円だったのに、今年は500円にあがりました。

